

ふるさとを愛する人と心を育むまちづくり

小 学校では、ICT化の一つとして電子黒板を導入するほか、教科書改訂に伴う義務教育教材、教師用指導書の整備を図ってまいります。また、中学校においても、電子黒板に対応したデジタル教科書の整備を行うなど、教育環境の整備に努めてまいります。

置戸高等学校については、平成28年度入学生からの適用を目指し、給付型奨学金「福祉の夢」サポート事業の導入に向けた取り組みを進めてまいります。

開町100周年記念事業として、入植当時の生活やこれまでのエピソードなどを劇化し、置戸の歴史を歌や踊り、映像資料などで表現する町民構成劇を上演いたします。

食のまちづくり推進事業については、食育の普及、地産地消の取り組みをさらに進め、農作物の加工、販売についての学習を推進するため、関係機関などとの連携を図ってまいります。

社会体育については、体育協会が創立50周年を迎えることから、記念事業への支援をいたします。

子どもの体力づくりを推進するため、おけとわんぱくクラブや少年スポーツ教室の開催、スポーツ少年団活動への支援、さらには、小学校などとの連携を図りながら、小学生の体力と運動機能の向上に努



子どもの体力づくりを推進

めてまいります。

体育施設関係では、昨年に引き続き置戸水泳プール改修と、町営テニスコートの環境整備を行います。

生涯学習情報センターは、本年4月より、「置戸町立図書館」として、町民に親しまれる「本のあるみんなの広場」としての機能をより高めてまいります。また、昨年から編集作業を進めております「置戸町100年の歴史と証言集」は、開町100周年にあわせ、本年度発刊いたします。

森林工芸館では、「オケクラフト作り手養成塾」を再開いたします。今年度からは指導体制の一部を見直し、時松辰夫氏を名誉塾長、主な技術指導には町内のクラフトマンに就任していただき、研修体制の充実に努めてまいります。

心ふれあう協働のまちづくり

戸 籍事務については、マイナンバー法の施行により本年10月から個人番号が付番され、平成28年1月から個人番号カードの交付と利用が開始されます。関連するシステムの改修や、特定個人情報の取扱いに係る関係規程の整備を行い、付加価値の高い住民サービスの提供に努めてまいります。

拓殖住民センターは、築31年を経過し、建物本体や暖房機器など設備の老朽化が著しいことから、大規模改修を行います。

公共施設の老朽化や改修費用などの増加が懸念されることから、計画的な維持管理を進めるため「公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設の長寿

命化や財政負担の平準化を図りながら、効率的な施設管理に努めてまいります。

一 般 会 計		41億4,800万円
特 別 会 計	国民健康保険	5億7,210万円
	後期高齢者医療	5,340万円
	介護保険事業	3億4,820万円
	介護サービス事業	1,040万円
	簡 易 水 道	7億5,910万円
	下 水 道	2億6,390万円
合 計		61億5,510万円